

「この本、よかった！」(139)
 『t u t u m u』
 作：TOMOYA

(kawaru-design合同会社)

みなさんにもおすすめしたい
 「くまどく本」。
 今月は、くまの・みらい保育園
 からです。

本田 富柚子 (しろ組)

t u t u m uが赤ちゃんの頃の絵が
 かわいいです。女の子にたくさん花を届
 けているところがすごいと思いました。

本田 圭子 (母)

主人公のt u t u m uは少し変な形
 をしていますが、全て点で描かれてい
 ることで愛しさを感じます。「自分が
 見て感じたことを大切にしてほしい。」
 というメッセージがとても素敵で子ど
 もから大人までみんなに読んでほしい
 です。



(教育総務課
 社会教育グループ)

体力向上に向けた取り組み

熊野第一小学校

第一小学校では、休憩時間になるとたくさんの
 児童がグラウンドに出て、元気に遊んでいます。

今年度は、外遊びを楽しむ児童をさらに増や
 すために『遊具王』という取り組みを行いました。
 この取り組みで児童たちは、学校にあるさ
 まざまな遊具を活用して、いろいろな技に挑戦
 しています。

3種類の遊具（鉄棒、うんてい、のぼり棒）
 にそれぞれ6つのレベルの技を設定して、すべ
 てのレベルをクリアすると『〇〇王』の称号と
 カードをゲットすることができます。子どもた
 ちは、大休憩の時間を使って、運動委員会の児
 童に協力してもらい、さまざまな遊具を使った
 技にチャレンジしていました。たくさんの児童
 が参加し、外遊びを推進する良いきっかけに
 なったと考えています。

今後も運動が好きな児童を増やし、体力の向
 上に努めていきたいと思います。



▲『〇〇王』にチャレンジする児童たち
 (教育総務課)

出動！熊野を盛り上げ隊

熊野中学校

1年生の総合的な学習の時間で『出動！熊野
 を盛り上げ隊』と題し、熊野を20年後も住み続
 けたい街にしていくなためのプランを産業観光課
 に提案しました。プラン実行のための具体的な
 アドバイスをいただく良い機会となり、それを
 もとに改善したプランを実行に移しました。

まず、NPO法人きらら会の協力のもと、深原
 公園にクリスマスイルミネーションのオブジェ
 を制作しました。クリスマスツリーとプレゼン
 トのオブジェをきらら会のみなさんと一緒に作
 り、年末年始に点灯していただきました。

そして、2月には東防災交流センターで世代
 間交流イベント「きんさいFes.」を実施しまし
 た。イベントでは、ゲームや昔遊びのブースな
 どを生徒主体で運営しました。

これらの取り組みを通して、生徒の「協働す
 る力」「創造する力」「表現する力」「ふるさと
 を大切にする心」を育んでいます。



▲協力してクリスマスオブジェを制作する生徒たち
 (教育総務課)

第54回 筆の都くまの町民文化祭 ―KUMAフェス― 参加者・グループを募集します！

日常活動の発表の場として、町民文化祭に参加して、地域の
 人たちとのふれあいの機会にしてみませんか。

時10月18日(土)・19日(日) 所町民会館

対町内で活動している個人または団体

【部門】書・画・工芸品の展示、ステージ発表、飲食バザーなど
 ￥3,000円／1団体

申5月12日(月)までに申込用紙を提出

※申込用紙は、役場2階教育総務課、町民会館、各防災交流センターにあります。

※5月22日(木)の総会への参加が必須になります。

問筆の都くまの町民文化祭実行委員会（町民会館内） ☎854-3111



(教育総務課社会教育グループ)

中学2年生対象 オープンスクール

熊野高等学校

この地に (346)

1月25日(土)、アートディレクションコース
 の2年生が企画した、中学2年生を対象とした
 オープンスクールを開催しました。

当日は、参加した中学2年生とその保護者で、
 会場となった図書室の席が満席になりました。

学校長挨拶と担当教員による授業内容の説明
 の後、生徒が劇仕立てで熊野高校での生活や制
 服、さまざまな活動について、わかりやすく説
 明しました。全部活動と生徒会の協力で作成し
 た活動紹介動画も披露しました。

その後は、芸術類型の各コース(音楽、美術、書
 道、アートディレクション)見学、校内見学、個
 別相談に分かれて、生徒の活動場所を見学して
 回ったり、詳しい説明や相談をしたりして、熊野
 高校の魅力を直接感じてもらいました。

早くから進路について考え、行動を起こして
 いる中学2年生には、ぜひ納得のいく高校選び
 をしてもらいたいと思います。



▲生徒による劇での学校説明の様子
 問熊野高等学校 ☎854-4155

人権とわたし

「ちいともやもやジェンダー川柳コンテスト」 受賞作品を紹介！(Part.6)

性別に関する固定概念（ジェンダーバイア
 ス）の解消に向けた県主催の取り組みとして、
 エソール広島と連携して昨年度開催された
 「ちいともやもやジェンダー川柳コンテスト」
 の受賞作品を紹介します。



【作者のコメント】

風邪をひき、発熱。どうにか子どもたちに
 カップ麺を食べさせていると、帰宅した夫が
 心配そうに「ママ大丈夫？ パパのご飯はあ
 る？」と言言。

(40代・女性)



◀エソール広島ホームページ

出典：もやもや解消読本

(広島県環境県民局わたらしい生き方応援課発行)
 (生活環境課)